

## 長野県生コンクリート工業組合との懇談会を開催しました

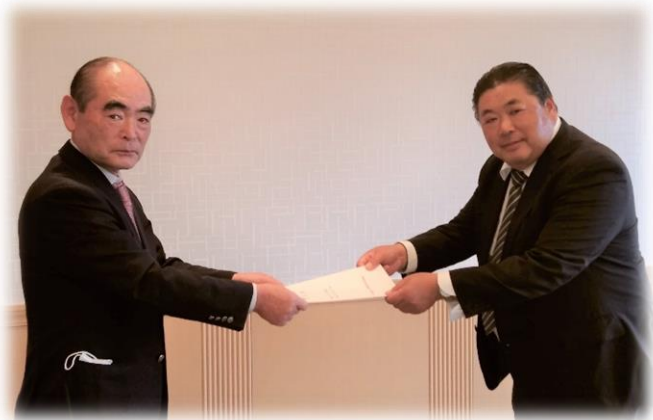
令和2年11月19日

本年度も、砂利等骨材の主要な取引先である生コンクリート製造業者の県的な団体、長野県生コンクリート工業組合と懇談会を開催し、懸案事項である、「地産地消のさらなる推進」と「コストアップを反映した骨材購入価格の設定」を要望しました。

また引き続き、県内の骨材の需給動向に関する意見交換を行いました。

昨年の台風19号の災害復旧事業の集中工事により、特に東信地区での骨材の供給に支障が生じていることや、大型ダンプカーや生コンミキサー車不足への対応が話し合われました。また、飯田・下伊那や、木曾を通過する、リニア新幹線工事に関する骨材供給への対応も話し合われました。公共工事をめぐる対応等で両団体が連携し万全の態勢で臨むことを確認しました。

本会からは松田文治会長、片井周一、藤澤幸治 各副会長が出席し、また県生コン組合からは 山浦友二理事長、鷲澤幸一、山田尚人、中村裕則 各副理事長の出席をいただきました。



松田会長(左)から県生コン組合の山浦理事長へ  
要望書を提出

